

課題名： 経気管支クライオ肺生検を施行した抗ARS抗体/筋炎関連抗体陽性間質性肺炎症例の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、抗アミノアシル tRNA シンテターゼ抗体（抗ARS抗体）/筋炎関連抗体陽性の間質性肺炎で治療方針決定のために経気管支クライオ肺生検（経気管支凍結肺生検）を行った患者さんにおける病理組織所見や画像所見に関して調べています。

本研究では、上記疾患で治療を行っているにも関わらず、なぜ再燃や疾患進行する症例が存在するのかを明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年5月から2024年4月までの間に当院で経気管支鏡クライオ肺生検（transbronchial lung cryobiopsy; TBLC）を施行した抗ARS抗体/筋炎関連抗体陽性の間質性肺炎の患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、年齢、身長、体重、BMI、発症様式急性か慢性経過での発症か、病型、症状（発熱・筋力低下・関節痛）、合併症、既往歴、現病歴、検査所見（CRP・LDH・CK・KL-6・抗ARS抗体/筋炎関連抗体の種類）、呼吸機能検査、気管支肺胞洗浄所見、画像所見、TBLCで採取した病理所見、治療歴、治療開始日、転帰

◆情報の研究利用開始日◆

2024年5月47日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報利用します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
呼吸器内科 研究責任者 田中 彩加

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明